



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月29日

上場会社名 株式会社カプコン 上場取引所 東・大  
 コード番号 9697 URL <http://www.capcom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻本 春弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小田 民雄 TEL (06)6920 - 3605  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月4日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	19,037	2.4	1,005	72.6	216	94.8	213	90.4
22年3月期第1四半期	19,497	19.2	3,664	23.0	4,117	2.3	2,230	6.4

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	3	62		
22年3月期第1四半期	36	08	35	95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	83,403	51,854	62.2	877 60
22年3月期	86,621	53,956	62.3	913 18

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 51,854百万円 22年3月期 53,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		15 00		20 00	35 00
23年3月期					
23年3月期(予想)		15 00		20 00	35 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,300	16.5	4,800	13.9	4,700	14.2	2,900	2.3	49 08
通期	95,000	42.1	15,000	168.5	14,000	153.1	8,000	269.1	135 39

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	67,723,244株	22年3月期	67,723,244株
23年3月期1Q	8,636,722株	22年3月期	8,636,412株
23年3月期1Q	59,086,662株	22年3月期1Q	61,826,818株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. (参考) セグメント情報等 .....	10
(1) 事業の種類別セグメント情報 .....	10
(2) 所在地別セグメント情報 .....	10
(3) 海外売上高 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における当業界は、ネットワークゲームが急成長するとともに、高機能携帯電話（スマートフォン）や携帯電話向け交流サイト（SNS）の市場拡大に加え、多機能携帯端末（アイパッド等）が人気を集めるなど、相次ぐ新勢力の参入により構造的変化の波が押し寄せてまいりました。

こうした環境のもと、当社はオンラインゲームや海外向けのゲーム開発に注力するなど、市場動向に対応した事業展開を図ってまいりました。

また、海外展開加速の一環として「CAPTIVATE 2010」（ハワイ）において、新作タイトルのプレゼンテーションを行うとともに、人気ゲームとのシナジー展開を図るため、「バサラ祭2010～春の陣～」のイベントを開催するなど、国内外において積極的な販促キャンペーンを推し進めてまいりました。

しかしながら、景気低迷を背景とした欧米の市場規模が縮小する状況下、海外における看板タイトル「ロスト プラネット2」（プレイステーション3、Xbox 360用）が伸び悩むなど、総じて弱含みに展開いたしました。

この結果、当第1四半期の連結業績は、主力部門である家庭用ゲームソフトが軟調に推移したことに加え、ドルやユーロに対する円高の加速も手伝って、売上高は190億37百万円（前年同期比2.4%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少や大型ソフト発売に伴う開発費の増加などにより、営業利益10億5百万円（前年同期比72.6%減）、経常利益2億16百万円（前年同期比94.8%減）、四半期純利益2億13百万円（前年同期比90.4%減）となりました。

### セグメントの状況

#### コンシューマ・オンラインゲーム事業

当事業におきましては、「スーパーストリートファイター」（プレイステーション3、Xbox 360用）やオンライン専用ゲーム「モンスターハンター フロンティア オンライン」（パソコン用、Xbox 360用）が堅調に推移いたしました。目玉タイトルの「ロスト プラネット2」（プレイステーション3、Xbox 360用）が大幅に計画を下回ったほか、「モンスターハンター3（トライ）」（Wii用）が伸び悩むとともに、新作ソフト「ゴースト トリック」（ニンテンドーDS用）も苦戦を強いられるなど、全体的に下振れしたことにより弱含みに展開いたしました。

この結果、売上高は149億95百万円となり、営業利益は大型タイトルの開発費増大による収益の圧迫により17億84百万円となりました。

#### モバイルコンテンツ事業

当事業におきましては、携帯電話向けゲーム市場が急成長する環境下、事業領域の拡大を図るためアイパッド向けに配信を開始した「バイオハザード4 アイパッド エディション」のダウンロード数が漸増したほか、前期に投入した 아이폰/アイポッド・タッチ向け「ストリートファイター」や「逆転裁判 - 蘇る逆転 -」も計画どおり推移いたしました。

この結果、売上高は6億80百万円、営業利益97百万円となりました。

#### アミューズメント施設事業

当事業におきましては、多彩なイベント開催や店舗のリニューアル、サービスデーの実施などにより、新規顧客の取り込みやリピーターの確保に努めるとともに、投資抑制等の店舗運営コストの圧縮など、市場環境に対応した事業展開により利益向上に取り組んでまいりました。

当該期間は不採算店1店舗を閉鎖いたしましたので、施設数は37店舗であります。

この結果、売上高は26億30百万円と減収になりましたが、営業利益は収益改善策が奏効したことにより1億78百万円と増益になりました。

#### アミューズメント機器事業

当事業におきましては、業務用機器につきましては施設オペレーターの購買力低下など需要低迷が続く中、新商品の投入がなかったため、既存商品による営業展開を余儀なくされましたが、商材不足の影響は避けられず、低調裡に終始いたしました。

一方、遊技機向け関連機器は、リピートタイトルの「新鬼武者」が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2億52百万円、営業損失1億69百万円となりました。

#### その他事業

その他事業につきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は4億79百万円、営業利益30百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ32億18百万円減少し834億3百万円となりました。主な減少は、現金及び預金11億29百万円およびゲームソフト仕掛品17億32百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ11億15百万円減少し315億49百万円となりました。主な減少は、未払法人税等4億57百万円および賞与引当金3億99百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ21億2百万円減少し518億54百万円となりました。主な減少は、剰余金の配当11億81百万円および為替換算調整勘定（海外連結子会社等の純資産の為替換算に係るもの）の変動10億66百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月7日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

#### 法人税等ならびに繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

当社の法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。連結子会社の税金費用に関しては、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益および経常利益はそれぞれ8百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は212百万円減少しております。

#### 「持分法に関する会計基準」および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月31日）を適用しております。

この適用による損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,735	29,865
受取手形及び売掛金	5,902	6,288
商品及び製品	916	849
仕掛品	432	183
原材料及び貯蔵品	1,297	1,698
ゲームソフト仕掛品	12,601	14,333
その他	7,816	8,132
貸倒引当金	43	48
流動資産合計	57,659	61,303
固定資産		
有形固定資産	14,127	14,049
無形固定資産		
のれん	134	179
その他	3,219	3,048
無形固定資産合計	3,353	3,227
投資その他の資産		
その他	9,281	9,060
貸倒引当金	1,018	1,019
投資その他の資産合計	8,262	8,040
固定資産合計	25,743	25,318
資産合計	83,403	86,621
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,606	3,477
短期借入金	13,211	13,211
未払法人税等	206	663
賞与引当金	918	1,318
返品調整引当金	100	90
その他	5,933	6,451
流動負債合計	23,977	25,211
固定負債		
長期借入金	4,247	4,355
退職給付引当金	1,423	1,388
その他	1,900	1,708
固定負債合計	7,571	7,453
負債合計	31,549	32,665

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,239	33,239
資本剰余金	21,328	21,328
利益剰余金	16,294	17,262
自己株式	13,141	13,141
株主資本合計	57,721	58,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47	19
為替換算調整勘定	5,819	4,752
評価・換算差額等合計	5,866	4,732
純資産合計	51,854	53,956
負債純資産合計	83,403	86,621



(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	19,497	19,037
売上原価	10,596	12,386
売上総利益	8,901	6,651
返品調整引当金戻入額	21	-
返品調整引当金繰入額	-	10
差引売上総利益	8,923	6,640
販売費及び一般管理費	5,258	5,635
営業利益	3,664	1,005
営業外収益		
受取利息	53	68
受取配当金	16	16
為替差益	367	-
その他	85	37
営業外収益合計	523	122
営業外費用		
支払利息	51	38
為替差損	-	852
その他	18	21
営業外費用合計	70	912
経常利益	4,117	216
特別利益		
貸倒引当金戻入額	16	0
特別利益合計	16	0
特別損失		
固定資産除売却損	7	15
投資有価証券評価損	-	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	204
その他	-	1
特別損失合計	7	478
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	4,126	261
法人税、住民税及び事業税	2,239	185
法人税等調整額	343	661
法人税等合計	1,895	475
少数株主損益調整前四半期純利益	-	213
四半期純利益	2,230	213

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	4,126	261
減価償却費	801	726
のれん償却額	92	44
貸倒引当金の増減額( は減少)	80	3
受取利息及び受取配当金	70	84
支払利息	51	38
為替差損益( は益)	23	874
固定資産売却損益( は益)	7	15
投資有価証券評価損益( は益)	-	257
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	204
売上債権の増減額( は増加)	20,781	217
たな卸資産の増減額( は増加)	574	28
ゲームソフト仕掛品の増減額( は増加)	1,465	1,682
仕入債務の増減額( は減少)	6,037	239
その他	3,449	749
小計	15,309	3,228
利息及び配当金の受取額	68	82
利息の支払額	50	36
訴訟関連損失の支払額	-	161
法人税等の支払額	1,757	557
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,570	2,554
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	493	368
無形固定資産の取得による支出	118	235
その他	187	277
投資活動によるキャッシュ・フロー	425	326
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	5,055	-
長期借入金の返済による支出	107	107
自己株式の取得による支出	0	0
自己株式の売却による収入	-	0
配当金の支払額	927	1,182
その他	121	155
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,213	1,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	69	1,861
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	6,862	1,079
現金及び現金同等物の期首残高	28,611	29,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,474	28,735

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、取り扱う製品・サービスについての国内および海外の包括的な戦略を立案する複数の事業統括を設置し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業統括を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「コンシューマ・オンラインゲーム事業」、「モバイルコンテンツ事業」、「アミューズメント施設事業」および「アミューズメント機器事業」の4つを報告セグメントとしております。

「コンシューマ・オンラインゲーム事業」は、ユーザー向けのゲームの開発・販売をしております。「モバイルコンテンツ事業」は、モバイル向けコンテンツの開発・販売をしております。「アミューズメント施設事業」は、ゲーム機を設置した店舗の運営をしております。「アミューズメント機器事業」は、店舗運営業者等に販売するゲーム機や遊技機等を製造・販売しております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	コンシューマ ・オンライン ゲーム	モバイル コンテンツ	アミューズ メント施設	アミューズ メント機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,995	680	2,630	252	18,558	479	19,037		19,037
セグメント間の内部 売上高または振替高									
計	14,995	680	2,630	252	18,558	479	19,037		19,037
セグメント損益	1,784	97	178	169	1,891	30	1,922	916	1,005

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、キャラクターコンテンツ事業等を含んでおります。

2 セグメント損益の調整額 916百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 916百万円が含まれております。

3 セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

## 4. (参考)セグメント情報等

## (1) 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	コンシューマ用ゲームソフト事業	アミューズメント施設運営事業	業務用機器販売事業	コンテンツエクシジョン事業	その他事業	計	消去または 全社	連結
売上高および営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	14,148	2,926	313	1,474	635	19,497		19,497
(2) セグメント間の内部売上高または振替高							( )	
計	14,148	2,926	313	1,474	635	19,497	( )	19,497
営業利益または営業損失( )	4,711	114	168	65	239	4,830	(1,165)	3,664

## (2) 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	その他の地域	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,871	4,169	3,090	365	19,497		19,497
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	2,288	403	1	2	2,694	(2,694)	
計	14,160	4,572	3,091	368	22,192	(2,694)	19,497
営業利益	3,597	767	271	83	4,719	(1,055)	3,664

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	その他の地域	計	消去 または全社	連結
売上高および営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,680	5,350	3,626	379	19,037		19,037
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	2,688	1,121	31	5	3,848	(3,848)	
計	12,369	6,472	3,658	385	22,885	(3,848)	19,037
営業利益	1,523	419	302	81	2,326	(1,320)	1,005

## (3) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	4,378	2,708	797	7,884
連結売上高(百万円)				19,497
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	22.5	13.9	4.1	40.4

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	5,571	3,449	743	9,763
連結売上高(百万円)				19,037
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	29.3	18.1	3.9	51.3